

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併により成立した旧志津村の行政区域を基礎としている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和8年3月末現在では、佐倉市の総人口168,207人に対し志津地区の人口が73,989人となっており、その割合は44.0%であり、市内で最も人口の多い地区である。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、生活環境は発展している。一方で、市街化区域の外縁部には田園風景が広がり、自然豊かな環境も残されている。志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和8年3月末現在】

- | | | | |
|------------|------------------------|-----------|--------------------------|
| ○志津地区：面 積 | 18.52km ² | （佐倉市：面 積 | 103.69km ² ） |
| ○志津地区：住基人口 | 73,989人 | （佐倉市：住基人口 | 168,207人） |
| ○志津地区：人口密度 | 3,995人/km ² | （佐倉市：人口密度 | 1,622人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主的な活動を支援するとともに、郷土づくりへの意識の向上を図る。また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援に努める。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進に努める。
- 学習成果の地域還元と人材活用の促進に努める。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するための調整に努める。
- 施設のメンテナンス及び不具合箇所の早期修繕に努め、良好な学習環境の維持に努める。

事業内容

1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容を充実させる。

2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成を支援する。

子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助を行い、相互連携を図る。

3. 広報活動

市民への情報提供および意見交換の場として、公民館だよりを発行するとともに、各種情報資料等の収集・整備・提供を行う。

4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備を行うとともに、館外貸出を実施する。

5. 施設の提供

- ・開館日時
 - ①日・月曜日、祝日 9時～17時
 - ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
 - *夜間の使用申込がない場合は17時で閉館
- ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数 (件)	5,343	6,373	6,791	6,903	6,996
利用人数 (人)	45,978	63,632	70,208	81,482	88,377
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

令和7年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210会議室	3,664	2,081	56.8%
220会議室	3,664	1,912	52.2%
201会議室	3,664	1,850	50.5%
202会議室	3,664	1,914	52.2%
調理室	3,664	794	21.7%
310会議室	3,664	1,755	47.9%
和室	3,664	1,168	31.9%
401会議室	3,664	1,837	50.1%
アトリエ	3,664	1,719	46.9%
大会議室A	3,664	2,312	63.1%
大会議室B	3,668	2,942	80.2%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	「ひとりじゃないもん！」～ハイゼックスを使った炊出し体験～	小学生以上 (親子参加可) 20人	7/25 15人	地震や台風などの自然災害に関する防災意識や関心を高める。また、家族や地域のコミュニティごとの繋がりの大切さを学ぶとともに、災害時にあたたかい食事を用意することで安心して生活できる環境づくりを目的とする。
青少年教育	志津子ども教室	小学生 8/3 20人 8/5 午前午後 各20人 12/25 5人	小学生 8/3 6人 8/5 午前18人 午後14人 12/25 8人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/3 仕事体験 8/5 勾玉づくり 12/25 子ども書道広場 ～書初め～ (小学生4～6年生)
	わらで蛇を作る「つじぎり作り」体験	小学生以上 (親子参加可) 20人	12/6 22人	地域の自然・歴史・習慣・食・技などを知り、つじぎり作りや学習を通して、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを育む。
	地域連携 (社会教育課経由で 市内高校と連携)	高校生	通年	公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。今年度は高校生が志津公民館まつりでプログラムの作成を実施。
成人教育	しづ学入門	成人 30人	5月～12月12回 土曜日 開講式 5/24 閉講式 12/13 講座 5/24 ～12/13	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
	健康とくらし	成人 30人	5月～12月12回 月曜日 開講式 5/24 閉講式 12/13 講座 5/24 ～12/13	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び、地域への還元を図る。
	美味しい活動	成人 30人	5月～12月12回 金曜日 開講式 5/24 閉講式 12/13 講座 5/24 ～12/13	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学入門講座 「志津探訪～秋の野草観察～」	成人 10人	10/30 11人	志津地区の自然を散策しながら、野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 15人	10/21 13人 10/28 14人 11/4 14人 11/11 13人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/21 基礎知識編 10/28 遺跡の紹介 11/4 遺跡の見学 11/11 今後のあり方

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 10人	10/22 10人 10/29 9人 11/ 5 8人 11/12 9人 11/19 8人 11/26 9人	かつて佐倉城主も通った「佐倉道」を実際に歩き、道沿いの史跡や周辺地域の歴史も含めて理解する。 10/22 座学 10/29 散策:江戸川駅～京成西船駅 11/ 5 散策:京成西船駅～薬園台駅 11/12 散策:薬園台駅～勝田台駅 11/19 散策:勝田台駅～京成臼井駅 11/26 散策:京成臼井駅～佐倉城大手門跡
	佐倉学講演会 「佐倉順天堂物語～二代堂主佐藤尚中の生き方～」	市内在住 在勤 100人	3/14 190人	佐倉市にある順天堂の外科医として、多くの患者を救った佐藤尚中について学ぶことで、郷土の理解を深める。
成人教育	秋の実りで作る草飾り	小学生以上 (親子等参加可) 10人	11/1 9人	身近な秋の野草や木の実などを組み合わせて、小さな草飾りを作ることで、自然や植物に親しみ、参加者相互の交流も深める。
	【能登半島被災地支援】 椅子ヨガ講座	成人 各40人	6/26 36人 7/10 28人	健康維持のためのヨガ体験。 【能登半島被災地支援】につなげていくことを併せて目的として会場内に募金箱を設置。
団体育成	志津公民館まつり	公民館利用 サークル	10/17～10/19 参加サークル29 来館者 832人	志津公民館で日頃活動しているサークルの発表・展示・活動体験を行う。
	サークル運営研修会	公民館利用 サークル	4/4 参加サークル11	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め地域活動につなげる。
	調理室利用サークル懇談会	公民館調理室 利用サークル	1/30 参加サークル11	調理室利用サークルの交流と共通理解を深める。
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議などの事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	市内主要施設 配布 ホームページ に掲載	9/15、3/15 各400部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

家族や地域みんなで災害時の食事について考える講座

「ひとりじゃないもん！」～ハイゼックスを使った炊出し体験～

①開設趣旨 地震や台風などの自然災害に関する防災意識や関心を高める。また、家族や地域のコミュニティごとの繋がり大切さを学ぶとともに、災害時にあったかい食事を用意することで安心して生活できる環境づくりを目的とする。

②募集対象 小学生以上（親子参加可） 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月25日（金）	コミュニケーション講座	災害について考えるワークショップ・料理	日本赤十字社 千葉県支部 佐野智佳子

④講座を終えて 『「ひとりじゃないもん！」～ハイゼックスを使った炊出し体験～』と題した当講座は、家族や地域コミュニティの中で、地震や台風などの自然災害に関する防災意識や関心の一助となることを目的に企画した。具体的には、災害時に必要な物を考えるワークショップや、ハイゼックス袋（高密度ポリエチレン袋。災害時に衛生的に調理ができ、食器不要）を利用した炊出しを行った。

当講座は、親子2組（保護者1人、子ども1～2人）の申込のほか、大人4人（ひとりずつ）の申込をいただいた。ひとりで参加したかたから聞き取った様子では「家で孫と一緒にやりたい」とのことで、家族とのコミュニケーションも目的とした家庭教育にふさわしい事業といえる。

講義の最初は、子どもたちに「災害に必要な物」を自由に挙げてもらった。細かいカテゴリーは講師の佐野氏が提示したものだが、食料であれば水、情報収集機器であれば電話、幼児用であればオムツや粉ミルク等、バラエティに富んだ回答が飛び出し、子ども達の想像力の豊かさがうかがえた。次に行ったことは、赤十字が実際に災害時の調理に使用しているハイゼックス袋でのカレーと白米の炊飯である。大人も子どもも、自分で米を測り材料を切り、ハイゼックス袋の中に詰めて、20分茹でることで、カレーライスが完成した。カレーが簡単にできたことで、大人の参加者は「災害時でも家で調理ができる」ことに高い関心を示していた。

なお、自分の調理したものは自分で責任をもって食べることにしたが、普段料理をしない子ども達でも美味しくカレーライスができあがり、参加者から高い評価を得た。災害時といえば味気ない食事の中、温かいカレーは被災者の心をもホッとさせる効果があると思われる。今回は時間の関係から「新聞紙で作る足カバー」「風呂敷リュック」の体験までは実演できなかったが、災害の中で家族や地域コミュニティの防災意識を高めるという意味では一定の成果が得られたものと考えられる。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

①開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、こどもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象 小学生

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 3日(日)	仕事体験 「～大人になったら何になる～地域の職人から学ぶ仕事体験」	大人の仕事を体験するワークショップ	千葉土建一般労働組合佐倉支部志津東分会
2	8月 5日(火)	勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育振興部文化財課
3	12月25日(木)	子ども書道ひろば～書初め～	日本の伝統行事に親しみ、書道を学ぶ	佐倉市書道部

④講座を終えて 佐倉市広報、佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式LINEでの募集を行った。

仕事体験での職人の話は、自分の職業の話をしてもらい、タイル貼り作業は、予め接着剤が塗られている木板にタイルシートを貼り、目地に接着剤を塗って、全体が乾いたら、接着剤等を拭き取るといった工程で進んだ。タイル貼りに時間がかかるため、前年度の反省を踏まえ時間配分を見直したが、今度は各職人の話が駆け足となってしまった。6人の講師それぞれ専門分野があるので、タイル工以外の職業の理解を深める観点では引き続き時間配分が課題となった。

勾玉づくりでは、1年生から6年生まで学年にばらつきがある中、低学年の子も集中して取り組んで時間内に勾玉の完成まで行うことができた。アンケートには勾玉や土器のイラストを描いてくれる子もいて、歴史への興味・関心を持つ入口として役割を果たしたものと考えられる。

子ども書道ひろば～書初め～では、日頃習字を習っている児童はいなかったため、筆の持ち方から書き方のコツまでを簡単に説明した後、練習を行った。途中、児童一人ひとりの書初めを添削し、伸び伸びと良く書けているところ、少し直した方が良いところを伝え、また真剣に練習を行い、最後は学校に提出する清書作品まで完成した。家ではなかなか取組んで時間のかかる書き初めを、落ち着いた環境の中、集中して作品を仕上げることができ、書き初めを書く楽しさと充実感が得られたことが伺えた。

わらで蛇を作る「つじぎり作り」体験

①開設趣旨 地域の自然・歴史・習慣・食・技などを知り、体験や学習を通して、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを育む。

②募集対象 小学生以上 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月6日(土)	「佐倉に伝わる風習」を学んだ後 「つじぎり作り」に挑戦する	佐倉市文化課職員 志津歴史同好会

④講座を終えて 2部構成で前半、座学で市内の無形民俗文化財について学習(講師:文化課職員)した。後半のつじぎり作りの小辻の作り方の説明は、志津歴史同好会が初めに作り方を通して説明し、その後、実際にみんなで作る際に具体的に一人ひとりていねいに教えるというやり方で進んだ。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第36期）

- ①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

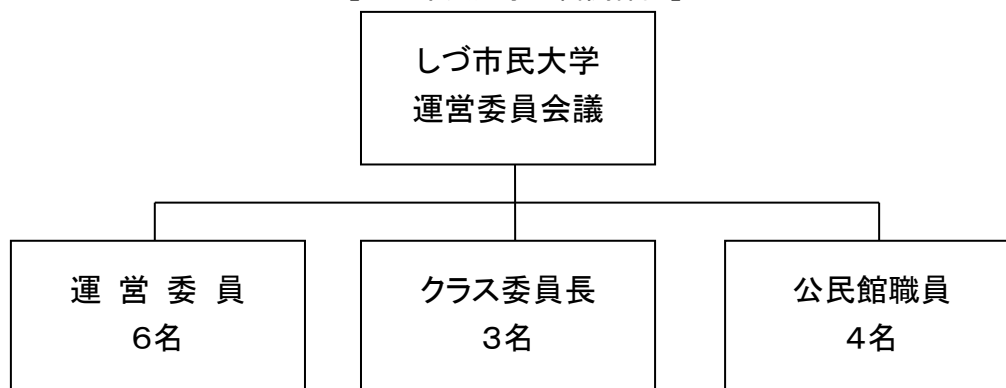
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取り込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域連帯への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



②募集対象、募集人員

- | | | |
|---------|----|-----|
| ・しづ学入門 | 成人 | 30人 |
| ・健康とくらし | 成人 | 30人 |
| ・美味しい活動 | 成人 | 30人 |

③学習目標

- ・しづ学入門 志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。
- ・健康とくらし 生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。
- ・美味しい活動 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

④プログラム

しづ市民大学 「しづ学入門」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30～12:00	開講式 記念講演「佐倉の観光」 【志津公民館 大会議室AB】		佐倉市佐倉の魅力推進課 参事官 滝沢 正彦
2	6月 7日(土) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月21日(土) 9:30～12:00	志津の話-いまむかし- 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市史編さん委員 内田 儀久
4	7月 5日(土) 9:30～12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系（現状と課題） 【志津公民館 大会議室A】		千葉県水産総合研究センター 内水面水産研究所 職員
5	7月19日(土) 9:30～12:00	絵図から見る志津地区のあゆみ 【志津公民館 大会議室A】		酒々井町文化財審議会 高橋 健一
6	9月 6日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市文化課 職員
7	9月20日(土) 9:30～12:00	絵図から見る佐倉城下町 【志津公民館 大会議室A】		國學院大學 准教授 川名 禎
8	10月 4日(土) 9:30～12:00	志津の地名について 【志津公民館 大会議室A】		佐倉地名研究会 田中 征志
9	10月25日(土) 9:30～12:00	志津地域散策 【志津地区】		NPO法人 佐倉一里塚 ガイドボランティア
10	11月 8日(土) 9:30～12:00	日本遺産北総四都市江戸紀行の概要について 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市文化課 職員
11	11月22日(土) 9:30～12:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市史編さん委員 中澤 恵子
12	12月13日(土) 9:30～12:15	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 【志津公民館 大会議室AB】		日本アカデミー賞協会 会員 伊東 芳幸

しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30～12:00	開講式 記念講演「佐倉の観光」 【志津公民館 大会議室AB】		佐倉市佐倉の魅力推進課 参事官 滝沢 正彦
2	6月 2日(月) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月30日(月) 9:30～12:00	夏に負けない体を作ろう～その「良かれと思っ て」を見直しましょう～ 【志津公民館 大会議室A】		成田赤十字病院 管理栄養士 川尻 美和
4	7月 7日(月) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣 【志津公民館 大会議室A 】		佐倉市健康推進課 職員
5	8月 4日(月) 9:30～12:00	避難所体験(カードゲーム) 【志津公民館 大会議室A】		日本赤十字社千葉県 支部救護福祉課救護 係長 金子 隆太郎 他
6	8月18日(月) 9:30～12:00	元気な今こそ！フレイル予防～身体活動を中心 に～ 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市健康推進課 職員
7	9月 1日(月) 9:30～12:00	耐震、あなたの家は？ 【志津公民館 大会議室A】		(公社)千葉県建築士 事務所協会 印旛支 部長 小杉 敬太郎
8	9月29日(月) 9:30～12:00	みんなで知ろうストレス緩和～ストレスって何 だろう～ 【志津公民館 大会議室A 】		成田赤十字病院 臨 床心理士 熊谷 そら 知
9	10月 15日(水) 9:30～12:30	ゴミの行方を追う(リサイクルセンター見学) 【酒々井リサイクル文化センター】		佐倉市、酒々井町清 掃組合 職員
10	11月17日(月) 9:30～12:00	回想法で脳を元気に！ 【志津公民館 大会議室A 】		社会福祉士、介護福 祉士、認知症ケア専 門士 中山 敏子
11	12月1日(月) 9:30～12:00	転倒予防について 【志津公民館 大会議室A 】		成田富里徳洲会病院 理学療法士 上原 慶喜、佐藤 優美
12	12月13日(土) 9:30～12:15	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 【志津公民館 大会議室AB】		日本アカデミー賞協 会会員 伊東 芳幸

しづ市民大学 「 美味しい活動 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30～12:00	開講式 記念講演「佐倉の観光」 【志津公民館 大会議室AB】		佐倉市佐倉の魅力推進課 参事官 滝沢 正彦
2	6月 6日(金) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月13日(金) 9:30～12:00	包丁について学ぶ 暮らしの基本を学ぶ 【志津公民館 201・202会議室】		習志野調理師専門学校 校長 山崎 慧
4	6月27日(金) 9:30～12:00	健康をつくる食事（調理実習） 【志津公民館 調理室】		習志野調理師専門学校 校長 山崎 慧
5	7月11日(金) 9:30～12:00	食品ロスから考える環境にやさしい暮らし 【志津公民館 大会議室A】		環境カウンセラー千葉県協議会 佐藤 ミヤ子
6	8月22日(金) 9:30～12:00	佐倉市における有機農業の取り組みについて 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市農政課 職員
7	9月5日(金) 9:30～12:00	農家の台所 余った野菜の活用方法（調理実習） 【志津公民館 調理室】		農家ユニット ハタムグリ 石井 美帆
8	9月26日(金) 9:30～12:00	地域食堂から学ぶこと 【志津公民館 大会議室A】		地域食堂ひだまりのたね
9	10月3日(金) 9:30～12:00	地域食堂の人気メニューをつくろう（調理実習） 【志津公民館 調理室】		地域食堂ひだまりのたね
10	11月14日(金) 9:30～12:00	災害時の食事のケアについて 【志津公民館 大会議室A】		日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT) 久保 安裕美
11	11月28日(金) 9:30～12:00	冬に食べたいあったかいスープ（調理実習） 【志津公民館 調理室】		佐倉市食育健康推進員
12	12月13日(土) 9:30～12:15	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 【志津公民館 大会議室AB】		日本アカデミー賞協会会員 伊東 芳幸

⑤講座を終えて

「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、唯一の外の学習である10月25日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。今年度は天気にも恵まれ実施することができた。

「健康とくらし」 本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっている。受講生が心身ともに豊かで充実した人生を送るため、健康にまつわる講義や体操の実技のみならず、カードゲームによる避難所疑似体験や家屋の耐震診断、ごみ処理現場の見学といった、生活に身近な事柄についても学習した。本講座に満足された受講生は多いので、来年度以降も、受講生にとって学び活動する楽しさが感じられる学習の場になるよう計画していきたい。

「美味しい活動」 今年度は4回の調理実習等食を中心としたプログラムとなった。ほぼ初対面の参加者による調理実習は課題も見られたが、進むにつれてチームワークも良くなった。最終アンケートでは全体的に満足度の高い評価が多かった。「この班、このメンバーでやれてよかった」等の前向きな気持ちで5班すべてがまとまれたのは今後の地域での活動にもつなげる本講座の役割も果たせたと思われる。

佐倉学講演会「佐倉順天堂物語～二代堂主佐藤尚中の生き方～」

①開設趣旨 本講座は「志津の歴史について学んでみたい」という方々を対象に「佐倉学」の普及を図りながら郷土愛を育み、郷土の関心を高め、郷土の創生に繋げることを目的とする。

②募集対象 成人 100人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月14日(土)	佐倉順天堂の外科医として、多くの患者を救った佐藤尚中について学ぶことで、郷土の理解を深める。	佐倉城址公園ボランティアの会 代表 山口 等

④講座を終えて 今回は佐倉城址公園ボランティアの会より、会長の山口氏に講演会をお願いした。普段はボランティアガイドを務めている氏だが、郷土史家として順天堂関連にも詳しいかたである。これまで順天堂、主に佐藤尚中の講演はほぼ例がなかったことや、講師の軽妙な語り口と豊富な資料に参加者も引き込まれつつ、アンケート結果でも、「楽しかった」「2弾3弾目を望む」声が多く見受けられた。講義としては成功だったと思われる。但し、運営側には反省の多い講座だった。事前申し込みなし、定員100人の予定だったところ、190人の参加者が集まった。全員に資料を用意することはできず、また会場は満員の状態であった。今回はギリギリ席を用意できたが、担当として事前申込制は必須だったと考えている。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月21日(火)	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 遠藤 瞳子
2	10月28日(火)	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	11月 4日(火)	遺跡探訪し知識を深める (現地見学)	文化課職員 小倉 和重
4	11月11日(火)	遺跡の今後について	文化課職員 松田 富美子

④講座を終えて 文化課では連日発掘調査等で多忙の中、文化課の講師松田主査、小倉学芸員、遠藤主事の3人が鮮明な写真を使用して作り上げたパワーポイントを使い、分かりやすい説明を講座で展開していただき、受講生からアンケートのとおり満足の結果をいただいた。

講座中は受講生も熱心に受講、わからないことは質問を積極的に行っていた。

募集の広報は例年どおり公民館だよりとしづ市民大学受講生に声掛けを行い27人の応募があり抽選にて15人を決定した。市内の方を優先にしている講座なので市内の応募者を想定して毎年募集していたが、市外の方からの応募があり応募要項に市内在住・在勤の記載がないので今後加えることの検討をすることとした。

佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」

①開設趣旨 江戸から佐倉城下を経て成田山新勝寺に向かう成田街道は、江戸時代の初め、上総や下総の大名が参勤交代で通行した道である。そのため、宿場が整備され、街道周辺には現在も道標や常夜灯、石仏、石碑、道路元標といった近世・近代の石造物などを目にすることができる。この「ちば文化資産」にも指定されている成田街道(成田道)は、かつて「佐倉道」とも呼ばれていた。今回の講座では江戸川駅から佐倉城大手門跡までの区間を5区に分けて関連する歴史や文化を探りながら散策することとした。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月22日(水)	佐倉道について(序論)	佐倉道を歩く会
2	10月29日(水)	【1区】江戸川駅～京成西船駅	
3	11月5日(水)	【2区】京成西船駅～薬園台駅	
4	11月12日(水)	【3区】薬園台駅～勝田台駅	
5	11月19日(水)	【4区】勝田台駅～京成臼井駅	
6	11月26日(水)	【5区】京成臼井駅～佐倉城大手門跡	

④講座を終えて 初日は散策する区間だけでなく、佐倉道全体(成田道部分も含む)の概要について学ぶ座学に加え、参加者を2グループに分けてワークショップを行い、参加者のコミュニケーションの醸成を図った。

散策が今回は5日間ということで、初日は天気が心配されたが全日とも雨が降ることなく、歩くと汗ばむほどの日もあるくらいで、気持ちよく快適に散策することができた。案内役の佐倉道を歩く会が作成した詳細で分かりやすい資料や現地での説明のおかげで、受講生の理解度も増し、熱心に見学をしていた。また、ケガ、事故等も

なく無事に全行程を実施することができた。1人だけ途中リタイヤがあったのは残念だったが、全日程すべてに参加された方が6人と、昨年度に比べ多かった。ただ、線路の近くや交通量の多いところなどでは説明が聴き取り辛いことがあった。

アンケートの結果からは、散策が好きな受講生が多く、今年度も参加者の満足度も高い結果となり、次回成田道をまた企画してほしいという要望が多かった。

佐倉学入門講座 志津探訪～秋の野草観察

①開設趣旨 志津地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月30日(木)	志津地区の野草・樹木を観察する。	千葉県自然観察指導員・佐倉野草会会長 近藤 維久子

④講座を終えて 年に1回、季節やコースを変えて実施している野草観察会。今回はユーカリが丘南公園をスタートとして、志津コミュニティセンターの裏を降りていき、休耕田や斜面等を観察しながら千手院まで散策してから戻り、志津コミュニティセンターのグラウンド前までのコースであった。説明いただいたのは今回も佐倉野草会会長で、千葉県自然観察指導員でもある近藤維久子先生。まず、ユーカリが丘南公園では、ユーカリの木やクスノキについて、休耕田や斜面ではカラスウリやヤブミョウガ、クズなど植物そのものの説明に加え、関連するエピソードなどを交えてのお話は、興味深い内容であり、楽しく身近な草木に触れ、自然への理解を深める機会となった。「外来植物も悪者ではなく、精いっぱいその場所で生きている」といった言葉はとても印象的であった。

受講生からは、「近藤先生の講座は興味深くて勉強になりました」「とても楽しかったので、また参加したいです」の感想があり、受講生が楽しんで散策できたことが伺える。

秋の実りで作る草飾り

①開設趣旨 日常に自然と親しむ楽しさを体験してもらう講座。季節の草木や木の実等を使って小さな草飾り作りを楽しんでもらい、暮らしに取り入れたい植物や、自然観察の楽しみ方を学ぶ。

②募集対象 小学生以上 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月1日(土)	秋の草木を使って小さな草飾りを作成	イラストレーター・園芸家 大野 八生

④講座を終えて 小学生以上を対象として募集した。募集方法は、こうほう佐倉、チラシ(館内掲示)、更に、それだけでは定員に満たなかったことから、期限を伸ばして佐倉市公式LINEでも募集を行った。応募時点では、小学生だけの申し込みであった保護者にも個別に声をかけ、大人5人、中学生1人、小学生1人の計7人であった。なお、当日中学生の参加者を送りに来た母親と妹にも声をかけたところ、喜んで参加されたため、当日の参加者は9人であった。講座は、秋の草木や葉っぱ、木の実など、講師が予め用意した材料を自由に使って、手のひら位のリースにワイヤーを使って飾っていくもので、みなさん、黙々と集中して思い思いの飾り付けをしてオリジナルの草飾りを作っていた。講師の丁寧な説明や指導もあって、参加者はとても楽しそうに

参加されており、それぞれに素敵な草飾りを作って持ち帰られていて、講座の満足度は高かったと思われる。

【能登半島被災地支援】椅子ヨガ講座

①開設趣旨 健康維持のためのヨガ体験。「能登半島被災地支援」として募金箱を設置。

②募集対象 各回成人40人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月26日(木)	座ってできる椅子ヨガ	志津楽らくヨガ講師 ヨガインストラクター 押部 有美
2	7月10日(木)		

④講座を終えて 昨年度に引き続き「能登半島被災地支援」のチャリティーヨガ講座を行った。昨年度はマットヨガと椅子ヨガで2回であったが、未経験者がマットを用意する難しさがあったことから2回とも椅子ヨガ講座とした。講座は2回とも多くの参加者があり、円滑に実施された。また、多数の方から温かいお気持ちをいただき、募金額は2回で24,932円集まり全額日本赤十字社の義援金として寄付を行った。講座自体は好評であったが昨今の猛烈な暑さの中、ヨガを始める前（公民館に来るまで）の高温環境下での来館負担が課題となった。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会

- ①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 志津公民館利用サークル
- ③学習内容
 - ・志津公民館の使用について
 - ・サークル活動のPR方法について
(サークル掲示板・会員募集ポスター等の活用等)
 - ・その他
- ④今後に向けて サークル掲示板の展示スペースについての運用方法の変更についての説明や、また、利用サークル全体で共有すべき事項を再確認した。質疑においては、質問したサークルとは別のサークルからも違った角度の意見が出るなど活発な議論が行われた。一方、事前の周知不足により参加サークル数自体は想定よりも少なかったことから次回への課題となった。

調理室利用サークル懇談会

- ①開設趣旨 志津公民館を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 調理室利用実績のある志津公民館利用サークル
(概ね2ヶ月に1回程度利用したサークル)
- ③学習内容
 - ・懇談会
 - ・清掃作業
 - ・質疑応答
- ④今後に向けて 調理室の稼働率も上昇傾向である中で、物品の整理の仕方を中心に、使用方法について議論が行われた。「せっかく良い調理室なのにもったいない」と問題点をあげつつも前向きな意見が多く改善すべき事項が明確となった。清掃作業は全員で協力し、普段手の届かないところを重点的に行うことができた。

志津地区社会教育関係団体への援助

- ①概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ②加入団体 単位子ども会 8団体
- ③活動内容
 - ・活動支援相談
 - ・連絡調整

公民館園芸ボランティアへの支援

- ①概要 令和3年度末で志津園芸サークル「花の輪」が卒業し、令和4年度からは個人ボランティア8人が活動を行っている。通年、敷地内の花壇等の手入れをお願いし、公民館はそれらにおける園芸活動の支援をしている。

②主な活動

- ・ 公民館敷地内の花壇の手入れ
- ・ 花についての自主学習

5. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

- ①ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加を図ることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ②発行回数 年2回（9月・3月）
- ③発行部数 9月・3月：各回400部
- ④配布方法 市内公民館、図書館及び志津コミュニティセンターに配架
- ⑤内容

第258号 (令和7年9月15日)	第259号 (令和8年3月15日)
●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ※申込方法 往復はがき ●お知らせ ・志津公民館まつり	●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき

- ⑥今後に向けて 市内公共施設への配架、ホームページ掲載だけでは、年齢層によっては情報が行き届かない課題が見込まれる。内容の充実を図り、手に取ってもらえる紙面を作り、配架を含めてより有効な方法を考える。